

ロボット手術支援センター

● スタッフ（2022年10月1日現在）

センター長 大野 芳正
 センター員 医師6名
 中央手術部看護師 1名
 臨床工学士 1名
 事務系 2名

● 特徴

2005年12月、手術支援ロボット、「ダヴィンチ (daVinci Surgical System)」による手術開始以来、泌尿器科・婦人科・消化器外科・呼吸器外科・耳鼻科の5科でロボット支援手術を実施してきました。本邦におけるロボット手術のリーダーとしてさらにロボット手術の充実と普及を計るために、1. 治療成績の向上、2. 安全性管理の徹底、3. 高度な手術技術を持つ新たな術者の育成、4. 新たな医療技術の普及を目的にロボット手術支援センターを開設し現在に至ります。2ヶ月に1回センター会議を開催し、問題症例があれば吟味し、また効率的なダヴィンチの運用方法などを話合っています。

● 部門の特殊性

共通の機器であるダヴィンチシステムを使用するために普段、別個に活動している各領域の医師、看護師、事務職が一同に話し合うことで機器の効率的な運用ができるようにダヴィンチ手術枠の調整もしております。

● アピールポイント

前立腺癌、腎臓癌、縦隔腫瘍、肺癌、食道癌、胃癌、膵臓癌、子宮体がん、直腸癌、膀胱癌、心臓弁膜症など徐々に保険収載され現在では良性の子宮筋腫、仙骨腫固定術、腎盂形成術なども追加されており、令和4年度のロボット支援手術総手術件数は521件まで増加しました。

● 各科の状況

➤ 産科・婦人科

◇これまで子宮頸癌、体癌、子宮筋腫を中心に300例以上を実施してきており、現在子宮頸癌に対するロボット支援下拡大子宮全摘術を先進医療として行っております。2022年度は82件のダヴィンチ手術を実施しました。

➤ 消化器外科・小児外科

◇直腸癌、膵臓癌、胃癌、結腸癌を中心におこなっており2022年度は172件まで増加しました。

➤ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

◇咽頭癌など2022年度は20件行っており、術後嚥下機能の温存、入院期間の短縮を認めています。

➤ 呼吸器外科

◇過去20例の縦隔腫瘍を実施し安全性と有効性を確認してきました。2019年9月より再開し、2022年度は肺癌を中心に63件と増加してきています。

➤ 泌尿器科

◇前立腺癌に対する前立腺全摘除術、早期腎癌に対する腎部分切除術、浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘術をダヴィンチ手術で行っております。また2021年11月より先天性水腎症に対する腎盂形成術も開始しました。2022年度は184件の手術を行いました。